

高縄

平成 28 年 7 月号
愛媛県松山市宮内甲 102
高縄神社社務所

氏子のあなた

ご自身と、ご家族と

そして何より

家そのものの命運を

左右するのが、

罪けがれの有無です

その罪けがれ、神様の

力で祓い清めます

それが氏神様の

なごし

夏越祭。

夏越祭の神事祭典は、

七月三十一日(日曜日)

午後五時三十分から斎行。

午後七時から、奉納カラオケ

大会があります。(午後九時頃

終了予定)

最後までご観覧の皆様には、豪華

景品が当たる籤引きをします。

献花もあります。賑やかです。

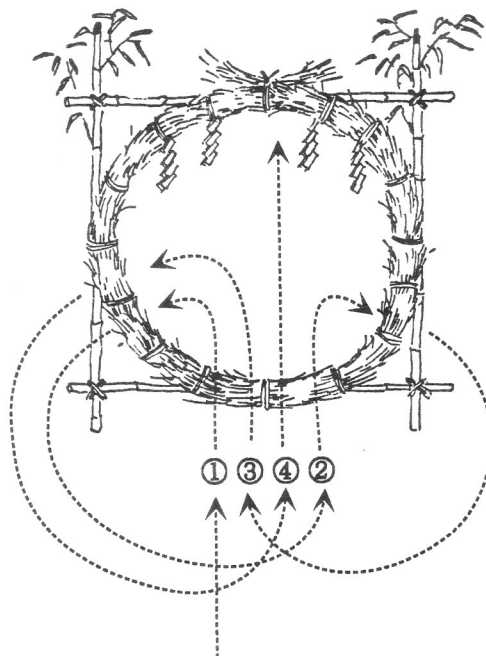
ぜひ、ご参拝ください。

△人形▽(ひとがた)



干支(えと)と年齢(数え年)性別を書き、前夜(七月三十日)に寝敷きして、

身体を撫で、息を吹きかけます。これがあなたと家族の形代(かたしろ)です。その形代に初穂料を添えて封筒に入れ、当日夕刻、高縄神社へお参りください。神門には茅の輪(ちのわ)があります。茅の輪は菅拔(すがぬき)ともいい、これをくぐり抜けることで清められます。



茅の輪くぐりには、作法があります。外に立って一礼。くぐって左に回り戻ってまた一礼。再びくぐって、今度は右に回って戻ります。そして一礼、もう一度くぐって左に回り戻って最後に一礼してくぐり、神前へ進み参拝します。(左・右・左と回って、4度くぐる)
参拝して封筒を巫女さんに渡したら、夏越祭の御札を受けます。

これで残り半年、家と家族とあなたはだいじょうぶ!

△前頁からの続き▽

夏越祭人形の配付は、協議員さんをお願いをしています。配付対象は、この社報をお届けする世帯の全てです。

1戸あたり、5体の人形を封筒に入れてあります。家族人数が5人未満であれば、その中の人数分を、あなたとご家族の形代(かたしろ)にして初穂料とともに封筒に入れ(残りもそのまま封筒に)お参りになってください。家族人数が6人以上なら追加します。協議員さんにお申し出ください。

夏越祭奉納カラオケ大会に出場を希望なさる方々の募集も、協議員さんをお願いをしています。ご希望者は、協議員さんにお申し出ください。七月十七日が〆切りです。―以上、夏越祭関連記事―

〔氏子からの寄稿〕

この社報は、宗教法人・高縄神社の機関紙です。氏子あつての神社ですから、できるかぎり、氏子によつて書かれたものを載せます。ぜひ原稿をお寄せください。

諸行無常の世で生きる力もろう

―会社員、五十九歳―

何かの縁あつて、河野地区に移り住み早や二十数年になります。当時、家を建てる際には、高縄神社の宮司さんや区長さんを始め、地域の人々にお世話になり、本当に感謝しています。

新たな地での生活は、最初不慣れな面もありましたが、子育て等を通しての学校、公民館行事、お祭りに参加することで地域の皆様とのコミュニケーション

ション交流が図れ、地域に馴染むことができました。

私の子供時代は勉強嫌いで、学校が終ると近所の友達とビー玉遊び等に夢中で、宿題を忘れて先生や親によく叱られていたのを思い出します。あの頃の時代は、大人はよく働き休みは週一日だけでした。そんな状況下、農業にも精を出し、多忙でも私をよく遊びに連れて行ってくれたのを覚えています。

あの頃と今では、社会状況が大きく変わり、経済成長の低下に伴う雇用不安、若者の人口減少、貧富格差の拡大等、今は普通に生きてゆくのが難しい時代になってきたなど実感しています。

私は、約十年前に大病を患い、苦しい体験をしました。入院先の病院のベッドで、ふと思ったのは、お釈迦様の「生・老・病・死」という言葉でした。家族、友人、看護師さん、同室の患者さん等の温い励ましをいただき、社会復帰することができ今でも幸せを感じています。

これからの人生、あの時もらった大きな元気を心の支えに、自分の目標に向い一步一步進んでゆこうと決意しています。

(寄稿、ありがとうございます)

〔温故知新〕

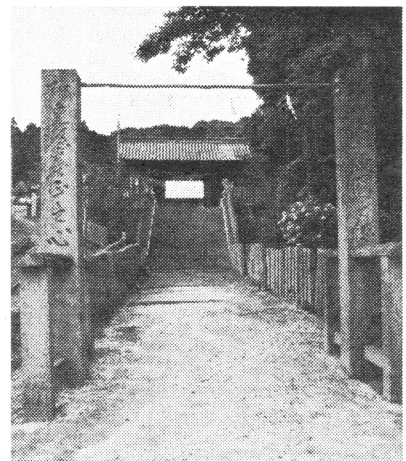
石文めぐり(その2)

今回は、注連石(しめいし)を紹介します。

高縄神社の注連石は、正面と脇と二ヶ所あります。正面のは、下の石段を上ったところの参道にあり、脇のは、脇参道(車道)を上りきって駐車場の手前右にあります。

彫られている文字は、

<正面>



答乾靈授國之徳 弘皇孫養正之心

これは「乾靈(あまつかみ)の國(くに)を授けたまひし徳(うつくしび)に答へ、皇孫(すめみま)の正(ただしきみち)を養ひたまひし心(みこころ)を弘(ひろ)むべし」とよみます。

<脇>



大人立制 義必随時

よみかたは「大人(ひじり)の制(のり)を立つる、義(ことわり)必ず時に随(したが)ふ」です。

いずれも、日本書紀を出典とします。

なお、馬場（参道）

沿いに建てられた宮内集会所には、これら石文に因む書が掲げられています。

書は右から左へとよみ、

利民は「たみにさち」

で
聖造は「ひじりのわざ」です。

出典となる日本書紀の該当部分は、次の通り。

三月辛酉朔丁卯、下令曰、自我東征、於茲六年矣。頼以皇天之威、凶徒就戮。雖邊土未清、餘妖尚梗、而中洲之地、無復風塵。誠宜恢廓皇都、規模大壯。而今運屬屯蒙、民心朴素。巢棲穴住、習俗惟常、夫大人立制、**義必隨時**。苟有利民、何妨**聖造**。且當披拂山林、經營宮室、而恭臨寶位、以鎮元元。上則答乾靈授國之德、下則弘皇孫養正之心。然後、兼六合以開都、掩八紘而爲宇、不亦可乎。觀夫畝傍山、東南樞原地者、蓋國之塹區乎。可治之。

これは、神武天皇の令（みことのり）です。

昭和前期のスローガンであった「八紘一宇」は、今では悪しざまに言われますが、その出典も、この中にある「八紘（あめのした）を掩（おほ）ひて宇

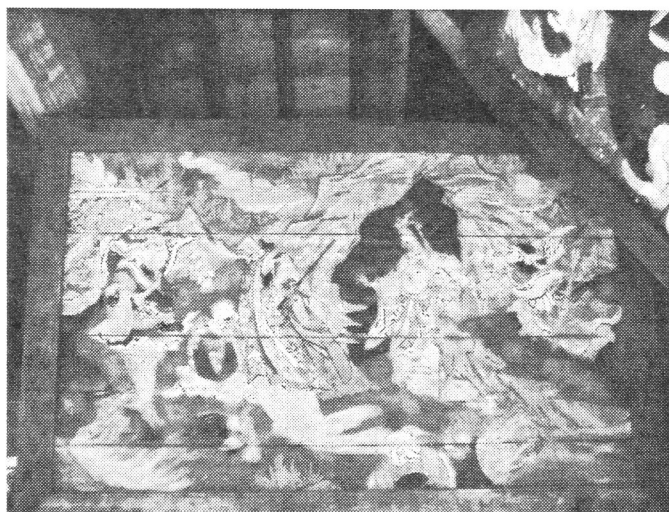
（いへ）と爲（な）す」です。よかれあしかれ、あるいは好むと好まざるとに拘らず、わが日本の建国理念が、ここに示されています。

今年（昭和二十六年）は神武天皇二千六百年祭の年。四月三日には高繩神社でも、4月号で予告した通り午前七時から**神武天皇祭遥拝**を行いました。この日は畝傍御陵・樞原神宮・皇靈殿で、それぞれ祭儀が厳修されたのです。

絵馬がたい（その2）

神道は「まつりごと」の宗教です。祭事と政事を別物と考えません。

高繩神社にある絵馬の一つ。ここに描かれている**天の岩戸開き**は、祭・政の原点といえます。



あります。たとえばクリスマス（ノエル）の起源。ローマ帝国で冬至に太陽の復活を祝うミトラスという神（ペルシャから持ち込まれた）の密儀が後に姿を変えて、キリスト降誕祭になったとか。

わが国の岩戸開きは、光の復活という結果だけでなくその過程が生き生きと語られるのが特徴です。神々が会議をなさったり、女神様がヌードダンスを踊って大笑いしたり。

日本の神様は、笑うの大好き。漫才という芸能は万歳から来たといわれ、伊予万歳のルーツとされる尾張万歳は「オホホ祭り」の別名で知られる熱田神宮の笑酔人（多ようど）神事から来ています。

ダンスを主演なさったお色気の女神様は、天孫降臨のときには立ちほだかる神に向かい前をほだけ**オツパイを見せて**笑うことで、鋭い眼光を無力化しました。これは天照大御神たちの命令によることであり、私的あるいは恣意的な誘惑行為ではありません。その子孫は猿女（さるめ）といい鎮魂祭や神楽など神事にたずさわり、一族には古事記編纂で語り部をつとめた稗田阿禮もいます。

いっぽう西洋文明の基盤をなした中東や地中海方面では、お色気の女神は背徳のにおいを漂わせた神格です。イナンナ、イシュタル、アフロディテ、ウエヌス（ビーナス）、いずれも金星を象徴とし、浮気や誘惑はお手のもの。恋人（または夫）の死に關しては、冥府の女王と談判しています。また色情的なのをエロといいますが、これはギリシャ神話で女神と軍神との不倫で生まれた童神の名前である**エロス**に由来します。

光をとり戻す太陽の復活儀礼と伝承は、世界中に

日本神話の、神々が会議をなさったとの伝えは「まつりごと」の根源を語ります。

天照大御神は最高神です。が、ヤハウエ(エホバ)やアツラーのような唯一絶対神ではなく、ゼウスやオーデインみたいに力づくで最高位に就いた神でもありません。生まれながらの最高位です。現世の天皇陛下もまた同じ。

他の国では、王様になるのは諸侯の中で最も強い者とその家系の者でした。ですから王権の無制限な強化は面白くない。十三世紀の英国で、国王による戦費調達の増税に反発した貴族たちが突きつけたマグナ・カルタが、立憲政治の始まりとされます。憲法は権力をしぼるもの、という理屈は、そこから出てくるのです。

ところが日本には、マグナ・カルタより六百年も前、すでに憲法がありました。聖徳太子が定められたという十七条憲法です。

これは「まつりごと」のありかたを示したもので、権力をしぼるものではありません。冒頭が「和を以て貴しと爲す」なのはよく知られていますが、続きには現実がそうならないことを述べています。

聖徳太子は現実を見ずえた御方です。大陸の隋という大帝国に対して、相手を怒らせても攻めて来れない情勢を読みきった上で「日出づる国」と自称し対等外交を打ち出しました。

今、世界は揺れ動いています。大陸国家は軍事力による領土的野心を剥き出しにして、すでに第二次冷戦状態。昨年の暮、パリでの事件をローマ法王は「まとまりを欠く第三次世界大戦の一部」と

表現しました。中東発の、宗教に名をかりたテロに民主主義を標榜する国々は腰が引けて、英国では六月二十三日、国民投票によってEUからの離脱が決定されました。これから、どうなるものやら。

こんなとき、神々が会議を開いて協力なされたという岩戸開きの伝承を有する私どもは、なによりも現実を見きわめ、絵空事や綺麗事でない本当の意味で、和を大事にしたいと思

います。和の道は「和して同ぜず」です。「同じて和せず」ではありません。

四月二十四日の日曜日は、高縄神社恒例の春祭でした。



平成27年度高縄神社経常費決算書 歳入<単位：円>

款	決算額	予算額	差異
1. 繰越金収入	305,484	305,484	0
2. 神饌幣帛料	12,000	12,000	0
3. 社入金	5,308,025	5,241,000	67,025
4. 寄附金収入	63,000	60,000	3,000
5. 繰入金収入	0	10,000	△10,000
6. 雑収入	8,373	10,000	△1,627
収入合計	5,696,882	5,638,484	58,398

歳出<単位：円>

款	決算額	予算額	差異
1. 祭典費	962,951	997,500	△34,549
2. 神符守札調製費	204,283	190,000	14,283
3. 社務費	2,135,211	2,260,000	△124,789
4. 教化費	175,900	250,000	△74,100
5. 管理費	1,475,853	1,460,000	15,853
6. 負担寄贈金	319,400	361,000	△41,600
7. 繰出金	100,000	100,000	0
8. 予備費	0	19,984	△19,984
支出合計	5,373,598	5,638,484	264,886

歳入合計 5,696,882円ー歳入合計 5,373,598円
=323,284円 (次年度へ繰越)

五月二十日、責任役員会を開催し、第一号議案で平成二十七年度の決算報告をしました。

五月二十三日、高縄神社恒例の夏祭を斎行しました。この御祭は、もともと疫病除けの祈願を込めたもので、かつては芝居、万歳、映画、居合の演武、剣舞や和太鼓、カラオケ大会などで賑わったものですが、ここ数年は祭典だけになっています。

六月二十日、協議員会を開催し、夏越祭に向けての取り組みを話し合いました。夏越祭の清興(アトラクション)を、どうするかについては、この協議で奉納カラオケ大会をすることに決まったのです。

【お詫びと訂正】

前号(4月号)1頁上段、餅まきを「午後三時半頃から」としていましたが、その時刻には終わっていました。申し訳ありません。

同号2頁下段4行目、「鳥居石文」は「注連石」に訂正します。